

市民の願いをどげ、がんばる！

12月市議会で、市民からの切実な要望を取り上げ、質問に立ちました。昨年度の決算についても、市民生活の現状から問題点を指摘し、改善を迫りました。



がけ崩れ対策と橋の耐震化をもとめる

市議会議員 森尾よしあき

昨年11月市内で相次いで、土砂崩れが発生。夕日寺地区東長江町での土砂崩れ、神谷内町では、斜面が崩落し、児童公園内に土砂が流れ込み、設置されていたトイレの施設がつぶれ、横の民家にまで流れ込みました。森本方面の桐山町では、川岸の斜面が崩落し、民家2軒の地盤が30~40cm沈下し、家が傾いてしまいました。今後の対策を求めました。また、橋土台の耐震性不足についても、たしました。

森尾よしあき 検索
ホームページ「いつも住民と共に」

その他 ●安倍政権、止まらぬ暴走と秘密保護法案をめぐって ●消費税増税、医療・介護制度の後退に対し、市民のくらしと営業をどのように守っていくか。●片町A地区の再開発は、だれのための事業で、どこまで税金投入をするのか。●米の生産調整(減反)の廃止とTPPへの参加で農業、米づくりは守れるのか。



保育園や学童保育の充実を！

市議会議員 広田みよ

2015年から子ども・子育て制度が大きく変えられようとしています。大きな目的は、国家予算の縮小や保育園経営などに企業を参入させやすくするため。本市でも、子ども・子育て会議を設置し議論がはじまっています。女性の社会進出などで保育園や学童保育の増設・充実が望まれる中、子育て制度の後退は許されません。働く親と子どもにとって安全で安心な生活の場を保障し、保育士や指導員にとって働きやすい環境を整備することは本市の責任です。保育園や学童保育の水準を引き上げるべきという視点で質問をしたところ、市長は「これまでの水準は下げない」という答弁。今後も、積極的にみなさんの要望を届けて制度に反映させましょう。

広田みよ 検索
ホームページ「広田みよのみよみよ日記」

その他 ●大気汚染と交通政策について ●石川県原子力防災訓練について ●受動喫煙対策とマナー条例について



ことぶき作業所(高齢者)の存続を！

市議会議員 升きよみ

高齢者は、病気や介護の不安を抱えながらも「人生を全うするまで元気で生きがいをもって社会に少しでも役に立ちたい」と願い、これまでの経験を生かし、仕事・趣味・ボランティアに意欲を持っておられます。本市の福祉作業センター「ことぶき作業所」は、岡市長が全国に先駆けて始めた、生きがい健康づくりの施設であり、今回の行政改革による廃止提案は高齢者の願いに背を向けるものであり、むしろ充実させることこそ大切。市民が真に求める要望に応え、実行することを求めました。

市長答弁「高齢者が、その力を発揮することは、ご自身と地域社会にとっても大切、就労相談窓口や再就職セミナー、技能修得講座などを通じて、支援していきたい」。

その他 ●山野市政3年目、市政運営にあたる市長の考えを問う
・どんな都市をめざすのか(都市像、学術・文化の都市では、住む人、一人ひとりがしあわせになる都市づくり)
・市長の公約との関係は(子ども医療費助成制度、お年寄りのキャリアを生かした生活環境とは)
・議員選挙と市長の職務について
●本市の公共交通政策について
・パーク・アンド・ライド、駐車場整備計画、公共交通利用促進事業等
●全国学力テストに関して

各党・会派の賛否

日本共産党が提出した決議・意見書

議案	提出会派	可否結果	自民(10人)	金沢保守(7人)	みらい(6人)	新かなざわ(4人)	公明(4人)	共産(3人)
「男女共同参画都市宣言」に関する決議	市議5人	可	○	○	○	○	○	○
直ちに「原発ゼロ」への決断を求める意見書	日本共産党	否	×	×	×	×	×	○
2014年4月からの消費税増税の中止を求める意見書	日本共産党	否	×	×	×	×	×	○
家賃控除を非婚の母子家庭まで適用することを求める意見書	日本共産党	否	×	×	×	×	×	○

新たに受理した請願・陳情

件名	請願人	可否結果	自民(10人)	金沢保守(7人)	みらい(6人)	新かなざわ(4人)	公明(4人)	共産(3人)
要支援の保健外しや要介護1・2の特養ホーム入所除外の撤回を介護保険部会に求める請願	特養ホーム利用者家族会	否	×	×	×	×	×	○
「秘密保護法」制定に反対する意見書の提出を求める請願	石川県法会議ほか5団体	否	×	×	×	×	×	○
TPP交渉に関する請願	農民運動 石川県連合会	否	×	×	×	×	×	○
片町スクランブル交差点を中心とした片町地区における悪質な客引き行為の防止を求める陳情	石川県社文科 生活衛生同業組合	可	○	○	○	○	○	○
子ども・子育て支援新制度についての陳情	石川県保育運動連絡会	否	×	×	×	×	×	○

議員の定数に関する検討会が設置

議長から提案され、本市議会の定数40名について、検討することが決まりました。本市議会は、1999年に44名から42名に、2002年に42名から現在の40名に削減されてきました。わが党は、人口規模に比べ本市の議員定数は、少ない方であり、民意を削るとして批判してきました。また、必要のない海外視察や費用弁償、政務活動費などの削減や、議会改革こそ進めるべきだと具体的な提案を行っています。

俵小の廃校、弥生小と野町小の合併

議案の討論

地域の中で

どの子にも豊かな教育を！

— 新たなマンモス校にもつながると指摘 —

●野町小学校と弥生小学校の統廃合は、古くなった学校を建て替え、耐震対策を進めてほしいとの願いを逆手にとり、小中一貫校という新しい学校をつくるからという打ち出し方で、この二つの小学校を統廃合し、泉中との小中一貫校を建設するというものです。

●現在、弥生小は児童が405人で15学級、職員数22人です。野町小は児童が168人で6学級、職員数15人です。統廃合されると児童数が573人、20学級、職員数も30人を超えることとなります。国が示す「適正規模」である12から18学級を上回ることとなります。さらに、泉中との小中一貫校となると同じ敷地に児童生徒数は、1000人規模となり、職員も60人前後となります。かつてのマンモス校のようなものです。

●同一敷地内に、幼児期の課題を残している小学校1年生と思春期に入り、第2次成長も著しい中学3年生までが一緒に生活することや、子どもたちの成長や教育内容、指導方法などについて検討され、構築されたものとは言いえないと指摘されているのが、小中一貫教育です。

